

■津波避難ビルの指定施設（2/15 現在）

名 称	住 所
戎小学校	河原町 3-7
浜小学校	小岫町 5-6
旭小学校	昭和町 2-27
上條小学校	東助松町 3-13-1
小津中学校	助松町 2-13-1
総合福祉センター	東雲町 9-15
ルピナス泉大津	旭町 1-13
エフォルナガイ	旭町 7-15
ポルト泉大津	旭町 14-14
エルグランデ OZU	旭町 16-12
アルザ泉大津	旭町 18-3
テクスピア大阪	旭町 22-45
パルテール東雲	東雲町 9-54
シャリエ泉大津	春日町 1-11
ルミエールフカキⅡ	菅原町 10-30
ルミエールフカキ	菅原町 10-38
エンデバー泉大津	若宮町 9-22
アムール・M	田中町 3-13
ローズステージ泉大津駅前	田中町 4-19
フェルティ・パーク泉大津	上之町 6-21
エクセラート松ノ浜	助松町 3-1-15
シャルマンコーポ松之浜	助松町 3-9-40
ジョイフルハイツ泉大津	東助松町 1-9-23
シルフィード東助松	東助松町 4-4-3
F A L K E N池浦寮	池浦町 1-2-19
ディオ・フェルティ泉大津	池浦町 1-17-27
あすと松之浜	二田町 1-13-16
リーデンススクエア泉大津	末広町 1-9-21
ホテルサンルート閑空	なざさ町 5-1
丸全昭和運輸㈱泉北倉庫営業所	臨海町 1-42
大阪泉大津花き地方卸売市場	小津島町 4
㈱大都 国際複合物流センター	小津島町 4-12
藤浪倉庫㈱泉北支店	小津島町 6-2
センコー㈱南大阪支店泉北 PD センター第 1 係	小津島町 2-9
センコー㈱南大阪支店泉北 PD センター第 2 係	小津島町 7-3

（津波避難ビルを使用する際の注意）
緊急避難時が夜間などでオートロックマンションが開錠しない場合は、インターホンで住民の人に助けを求めてください。今後、新たに津波避難ビルの指定を追加した場合は、速やかに市ホームページなどに掲載します。 ※指定した建物には、右のサインを掲示します

地震などの災害に備え… 家具の転倒防止対策を！

地震により転倒した家具や家電製品の下敷きになることでケガをしたり、場合によっては命を落とすこともあります。

阪神淡路大震災では、ケガをした人の約 75%が家具などの転倒やガラスの飛散によるものです。このような事態を未然に防ぐためには、家具の転倒防止の対策を講じることが必要です。

いつ起こるかわからない地震に備えて、日ごろから安全確保を行いましょう。

転倒防止対策のポイント

①安全空間を確保する

▷寝室になるべく家具は置かない。やむを得ず置く場合には、倒れてきても下敷きにならないように配置する

▷避難の際に邪魔にならないよう、出口付近や廊下、階段などに物は置かない

▷壊れやすいもの、割れやすいものは極力置かない

▷キャスター付きの家具や家電製品があれば、動かないように固定しておく など

②家具などを倒れにくくする

▷重いものは下に収納し、重心を下げて倒れにくくする

▷家具の下にストッパーなどを敷くなど角度をつけ、後ろにもたれ気味に置く

▷転倒防止器具（L 字金具など）を使用して壁に固定する など

③落下物によるケガを防ぐ

▷開き扉にはストッパーを取り付け、中の収納物が出ないようにする

▷照明器具が落ちないように、耐熱性のテープを貼るなど補強を行う

問合 危機管理課（市役所 4 階）

大規模地震に伴う津波が発生、または発生する恐れがある場合に、市民の皆さんが緊急的に一時避難する施設を確保するため、耐震性に優れた中高層建築物について、ビル所有者やマンション管理組合のご協力を得て、「津波発生時における緊急避難場所としての使用に関する協定」を締結し、左表のとおり「津波避難ビル」として指定しました。

津波警報や大津波警報が発令されたとき、津波から身を守るためには、まず浸水区域外に避難することが基本です。しかし、警報の発令を知るのが遅れたり、避難が困難なときなど、時間的余裕が極めて少なく、避難のための十分な時間を確保できない場合は、津波避難ビルに緊急的に一時避難することができます。

今後津波避難ビルの指定の取り組みを進めていきます。

問合 危機管理課（市役所 4 階）

津波避難ビルを募集します

建物を所有または管理している個人または法人で、「津波避難ビル」の指定にご協力をいただける人は、危機管理課までご連絡をお願いします。

【津波避難ビルの要件】

▷津波浸水区域内の臨海部および内陸部にある鉄筋コンクリート造（RC）または鉄骨鉄筋コンクリート造（SRC）構造で 5 階以上であること（津波による浸水が低いと予測される地域は 3 階建以上も可）

▷新耐震基準（昭和 56 年施行）に適合している建物であること

津波避難ビル

を指定しています。



大規模地震に伴う津波発生時に、緊急的に避難できる市内のビル一覧

避難時の注意

▷本市へは東南海・南海地震発生後、約 90 分で津波の第 1 波が到達すると想定されています。慌てず、落ち着いて避難しましょう。

▷津波は第 1 波、第 2 波と何度も押し寄せます。津波警報の解除など、安全が確認できるまで避難場所などにとどまりましょう。

▷車での避難は、渋滞や事故などの原因になるので避けましょう。



Get ticket to LONDON !!

羽衣体操クラブ所属の 3 選手

●新竹優子 選手 Yuko SHINTAKE

北京オリンピック日本代表

H23 全日本種目別選手権大会 段違い平行棒 2 位

H23 世界体操競技選手権東京大会 日本代表 団体 7 位

H23NHK 杯 個人総合 3 位

H23 全日本体操競技選手権大会 個人総合 3 位

H22 世界体操競技選手権オランダ大会 日本代表 団体 5 位

（泉大津市在住／羽衣体操クラブ所属）

●山岸 舞 選手 Mai YAMAGISHI

H23 ユニバーシアード中国大会 団体優勝、個人

総合 2 位、段違い平行棒 2 位、平均台 3 位

H23 全日本種目別選手権大会 段違い平行棒 3 位

H23 世界体操競技選手権東京大会 日本代表 団体 7 位

H23NHK 杯 個人総合 8 位

H23 全日本体操競技選手権大会 個人総合 7 位

H22 世界体操競技選手権オランダ大会 日本代表 団体 5 位

（泉大津市在住／羽衣体操クラブ所属）

●今西裕万 選手 Yuma IMANISHI

H23 ユニバーシアード中国大会 団体優勝

H23NHK 杯 個人総合 10 位

H22 全日本体操競技選手権大会 個人総合 16 位

ゆか 3 位

H22NHK 杯 個人総合 14 位

（貝塚市在住／羽衣体操クラブ所属）



泉大津でオリンピックを目指し練習しています

ロンドン五輪を目指す 3 人の体操選手から 目が離せない !!!!!

今年夏のロンドンオリンピックでメダルを期待されている女子体操。その日本代表を目指して、本市昭和町にある「羽衣体操クラブ」所属の選手が現在練習に励んでいます。

4 月、5 月には東京で選考会があります。みんなで応援しましょう！

特報！

羽衣体操クラブ 体操教室参加者募集！

ナショナル強化選手といっしょに
体操にふれあいませんか？

平成 23 年度フカキ夢・ひとづくり賞を受賞した羽衣体操クラブ（P15 参照）の協力のもと、市民とのふれあいの場として、体操教室を開催します。

指導員から体操競技の話を聞いたり、競技用のフロアーやトランポリンを使用した体操教室を体験してみませんか。

模範演技では、ロンドンオリンピックの代表を目指している新竹選手、山岸選手などが素晴らしい体操演技を見せてくれます。

日時 3 月 11 日(日) 午後 3 時～5 時

場所 羽衣体操クラブ（昭和町 9－24）

定員 先着 50 人（保護者は 1 人以内）

対象 市内在住の小学 1～6 年生

内容 ①指導員のお話、模範演技 ②体操教室（マット、跳び箱、平均台、トランポリン）

申込・問合 3 月 1 日(休)から 9 日(金)までに、電話か企画調整課窓口へ



ライター・カセットボンベ

ごみに出すときはご注意ください！

使い捨てライター、カセットボンベをごみとして出すときは、必ず中身を使い切ってからお出してください。ライターは可燃ごみとして、カセットボンベはかん・びんの日に収集します。

収集車の
火災事故が
発生しています！

ライターは「可燃ごみ」、
カセットボンベは
「かん・びんの日」に

最近、かん・びんなどの資源ごみの収集時に、ごみ収集車の火災事故が発生しています。これは、資源ごみの中に混入した使い捨てライターやカセットボンベなどのガスが、積み込みの際に収集車の中で爆発したものと考えられます。

使い捨てライターやカセットボンベなどは、必ず中身を使い切り、ガスが残っていないことを確認し、使い捨てライターは可燃ごみ、カセットボンベはかん・びんの日に回収してください。

問合せ 生活環境課（市役所1階3番窓口）

※使い捨てライターに関しては経済産業省の製品安全ガイドHPをご覧ください。

http://www.meti.go.jp/product_safety/

※スプレー缶（エアゾール缶）、カセットボンベに関しては社団法人エアゾール協会のHPをご覧ください。

<http://www.aiaj.or.jp/question.html>

段ボール・紙パック・食品トレイ 正しい分別にご協力ください。

段ボール・紙パック・食品トレイをごみに出すときの注意事項

- ▷段ボールは必ず折りたたんで出す（箱の中に可燃ごみを入れない）
- ▷酒パックなど、開いたときに内側がアルミ付きのものは収集できないので、可燃ごみ（燃えるごみ）で出す
- ▷食品トレイは「発泡スチロール製の食品トレイ」のみが対象
※発泡スチロール製の食品トレイは、力を入れるとパキッと割れます（右写真。発泡スチロール製以外は、割ろうとしてもしななって割れません）。

食品トレイとして出せないものの例

カップめんや納豆の容器、プラスチック製容器、緩衝材などの発泡スチロールは可燃ごみとして出してください。

問合せ 生活環境課（市役所1階3番窓口）



これらは「可燃ごみ」の日にお出してください

市民会館創立 40 周年記念

第10回桜フェスタ 開催します！

日時 4月1日(日) 午前10時～午後4時
場所 市民会館・ひまわり広場
内容 ▷**野外ステージ**…クラウンショー、ストリートダンス、中国蛇踊り、ジャズ、吹奏楽、よさこい踊りほか ▷**小ホール**…人形劇、マジック、ジャズダンス、コーラスほか ▷**ふれあい広場**…模擬店、フリマ、障がい者授産品コーナー、まぐろ解体（即売）、バルーンアート、ピッチングゲーム、風船つり、体験コーナー（消防はしご車、白バイ）ほか ▷**大ホールロビー**…お茶席 ▷**ひまわり広場**…移動動物園、模擬店、バンドライブほか

■第10回桜フェスタ フリーマーケット出展者募集

日時 4月1日(日) 午前10時～午後4時
場所 市民会館 **募集** 35ブース（応募多数の場合抽選）
応募対象 市内在住の人
ブースサイズ 約9㎡（間口約2.5m）
参加金 1ブース700円（雨天の場合でも返金不可）
販売品目 衣料・雑貨・リサイクル品・手作り品など（生き物、食品、風俗関連品などは禁止）
申込・問合せ 3月13日(火)までの午前9時から午後5時（月曜日休館）に参加金を添えて市民会館（☎21・7050）へ
 ブース抽選会は3月17日(土)午後1時から市民会館で実施。

国民健康保険

からのお知らせ



no.1 高額の外來診療を受ける場合も「限度額適用認定証」の申請を！

○国民健康保険に加入している70歳未満の人へ

高額の外來診療を受けるとき、これまでは自己負担限度額を超える分も、いったん医療機関などでお支払いいただいていたが、4月1日からは、「限度額適用認定証」を医療機関などの窓口へ提示することで、外來診療でも自己負担限度額までとなります（同一医療機関などでの同一月の窓口負担が自己負担限度額を超える場合）。

高額の外來診療を受ける人で、限度額適用認定証をお持ちでない人は、事前に保険年金課へ交付申請してください。申請には保険証と印鑑が必要です。限度額適用認定証は、国民健康保険料の滞納がないことを確認できた場合に限り交付されます。

なお、限度額適用認定証をすでにお持ちの人は、改めて申請

no.2 24年度も自己負担額は1割に据え置き 高齢受給者証を3月末に送付

○国民健康保険に加入している70～74歳の人へ

4月から平成25年3月までの1年間、お医者さんにかかったときの自己負担が1割に据え置かれます（現役並みの所得のある人ですでに3割の人や、後期高齢者医療制度の対象となる人は除く）。また、医療費が高額になった場合の自己負担限度額も、4月から平成25年3月まで据え置かれる予定です。

現在、高齢受給者証の期限が3月31日となっていますが、3月末に、7月31日（75歳の誕生日を迎える人は誕生日前日）までの高齢受給者証をお送りします。8月1日以降の高齢受給者証は、平成23年の所得状況により見直しがありますので、7月末の送付となります。

70～74歳で課税世帯の人は、4月1日から、外來診療でも同一医療機関などでの同一月の

国民健康保険の加入・脱退について

会社を退職して社会保険の資格がなくなったり、会社に就職して社会保険の資格を取得したときは、保険年金課に届け出が必要です。

届出は、社会保険などの資格がなくなる、または取得した日から、14日以内です。

国民健康保険加入手続きで届出が遅れた場合は、最高2年間（社会保険の喪失日まで）さかのぼって加入し、保険料を支払うことになります。

また、社会保険などの資格を取得した場合も届け出が必要です。届け出をしないと、引き続き国民健康保険に加入したままとなり、国民健康保険料を請求されますのでご注意ください。

届け出については、社会保険の資格がなくなった日、資格ができた日を証明する書類と印鑑、被保険者証（家族の人で国民健康保険加入者がいる場合）をお持ちのうえ、保険年金課までお越しください。

の窓口負担が自己負担限度額を超える場合は、高齢受給者証を提示することで自己負担限度額までのお支払いとなります。

また、70～74歳の非課税世帯の人が高額の外來診療を受けるときは、4月1日から、限度額適用・標準負担額減額認定証を医療機関に提示することで、外來診療でも同一医療機関などでの同一月の窓口負担が自己負担限度額を超える場合は、自己負担限度額までとなります。

限度額適用・標準負担額減額認定証をお持ちでない人は、事前に保険年金課へ限度額適用・標準負担額減額認定証の交付を申請してください。申請には保険証と印鑑が必要です。

なお、現在限度額適用・標準負担額減額認定証をすでにお持ちの人は、改めて申請する必要はありません。